

きくちだいじろうどうしかい 菊池大二郎同志会だより

第14号 平成29年7月16日発行
菊池大二郎同志会広報部

議会活動報告

(1) 6月定例議会の主な質疑・提言項目

① 楯高跡地利用問題について

・市としては村山産業高校の看護学科分校としての利活用を主眼としているが県の反応は？
⇒県は運営費用的な問題で消極的だ。

・県内または北村山・最上地域での看護学生及び看護師の需要と供給のバランスは図られるのか？
また、卒業生が村山の近隣地域で就職せずに市外や県外に出て行かれては本末転倒ではないか？

⇒県内的な需要は確実にある。ただ、卒業生の約4割が県外で就職している。村山地域にどれだけの人数が定着するかは正直分らないし、むしろ期待薄。ただ、学校関係者の経済活動に期待。

・経済活動、経済効果といっても楯高時代に比べればかなり期待値は低い。分析を深め、看護学校ありきではなく、幅広い可能性のある施設・拠点になるように検討して欲しい。



西郷は道六地区の方から市へお貸しいただいた大変きれいな車月（さつき）

② 道の駅について

・道の駅の収益・決算状況が低下しているが原因は何か？

⇒詳細な分析は行っていないが、交通量の変化やコンビニ等が乱立し消費構造の変化が関係。

・確かにそうした周辺環境の変化もあるだろうが、私は、制度そのものや意識も含めた体質的な問題ではないかと考える。仮に、交通量の多い新しい場所に移転して新しい建物になっても、こうした体質的な問題を克服しない限り、数年後、結果としては現状と同様になるのではないかと。ところで、移転するのか？

⇒将来的には移転しなければならないと考えている。

・収益低下の詳細な分析をして、しっかり対応してほしい。

③ 東京五輪・ホストタウン事業について

・昨年の議会にて、ホストタウン事業の特別室の設置を提言したが、この度、推進室が創設された。評価すべきことだが、創設されて変わったことはあるか？

⇒担当する職員が増え、スピード感をもって対応できている。生涯学習課も含めて、かなり拡充した形で一定の方向を向いて取り組んでいる。



ブルガリア選手団と。本人は右から4人目で完全に埋もれています（笑）

・交流事業も素晴らしいが、何かブルガリア選手団と村山の関係を実際に演技する本番で見せられるものはないか。例えば、ローズキャンプのロゴ入りの試合着や練習着等。本番の実況で村山との関係が放映されれば、全世界に発信され、それ以上の広告はないとも考えるがどうか？

⇒ロゴ関係はスポンサーや資金的な問題でかなりハードルは高いが、しっかり検討していく。

(2) ブルガリア選手団との交流

6月中旬にいよいよブルガリア選手団が来市。歓迎ムードを高めるように昨年議会提言して参りました。その結果、市内各所が白、緑、赤のブルガリア国旗色であふ

れ、市報でも簡単なブルガリア語が紹介されました。選手団からは日本の文化芸能を体験したり、市内学校を訪問したりと多くの交流事業に参画していただきました。選手団のみならず、ブルガリア新体操協会をはじめ、全ての関係者の皆様のご尽力に改めて御礼申し上げます。これから数年続きますがたくさんの村山の知恵と心で交流と深めて参りましょう。



三味線に興味をしめすブルガリア選手

Б л а г о д а р я (ブラゴダリヤ) **意味：ありがとう**
V u l g a r i a (ブルガリア) !

地域活動報告

(1) 観光物産協会の周遊バスガイド、まちあるきガイド

6月から7月にかけて、市内各所を周遊するバスのガイド及び地元楯岡地区をご案内するまちあるきガイドを務めました。訪れた皆様が本当に笑顔で楽しめる様子を第一線で拝見できるという観光の素晴らしさを体感。今後も試行錯誤しながら、ただ語るではなく、「体験」して語ることができるように精進して参ります。

(2) 楯山愛好会・散策道整備へ

楯山愛好会の非常に厳しい組織運営の実態を先般の楯岡まちづくり協議会総会の際に伺い、実際にこの1年、楯岡に住む一員としてできるだけ現場に入ってみようと考えています。組織の高齢化や里山整備の必要性等は、楯岡だけでなく市内全域で問題となっています。まずは、楯山の現状をしっかりと把握し、有害鳥獣対策にも活かしていきたいと思えます。



楯山愛好会の方々との入山風景

(3) 最後の開催・葉山山岳マラソン開会式へ

6月25日早朝、この度の開催が最後となる葉山山岳マラソン開会式へ。100名を超える選手の皆さんが名残惜しそうな気持ちも抱えながら大会へ臨んでおりました。村山でしか体感できない独特のマラソンスタイル。継続開催ができない無念さを感じました。これまで準備や組織運営にご尽力いただいた関係者の皆様方、本当にお疲れ様でした。



葉山山岳マラソンのスタート風景

(4) 楯岡グラウンドゴルフ大会へ

昨年に引き続き、金谷運動場にて参加。昨年は、ブービー賞（ビリから2番目）でしたが今年は1ホール3打平均でまわれ、飛躍的にスコアが向上。普段、お話できない方々と交流の場を持たせていただき、大変楽しいひとときでした。

政治活動報告



議員団を代表して挨拶する菊池大二郎

5月14日、犬飼つかさ氏（大久保出身、楯岡在住）の後援会設立総会に来賓として参加。会場の大久保地域市民センターには200名を超える方々がご参集。菊池大二郎からも北村山地域議員団を代表してのご挨拶。中堅世代の犬飼氏は、会社員勤務ののち、現在は農業をされています。親御さんの介護の経験もあり、現役子育て世代。たくさんの経験をお持ちの犬飼氏の政治活動に対して同志会会員様方からもご理解を賜りますようよろしくお願い申し上げます。